

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2012年23週 (6月1週6/4~6/10)

2012年5月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail : eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先 : 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、水痘、後天性免疫不全症候群

定点医療機関コメント

溶連菌感染症、咽頭結膜熱、インフルエンザ、病原性大腸菌、マイコプラズマ肺炎、水痘等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(36)、腸管出血性大腸菌感染症(2)、レジオネラ症(2)、アメーバ赤痢(3)、ウイルス性肝炎(1)、後天性免疫不全症候群(4)

2012年5月報

定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

咽頭結膜熱(図1)

23週の定点当たり報告数は0.41、22週57人 23週75人 (1.32倍)です。

ヘルパンギーナ(図2)

23週の定点当たり報告数は0.93、22週132人 23週170人 (1.29倍)です。

水痘(図3)

23週の定点当たり報告数は1.88、22週278人 23週343人 (1.23倍)です。

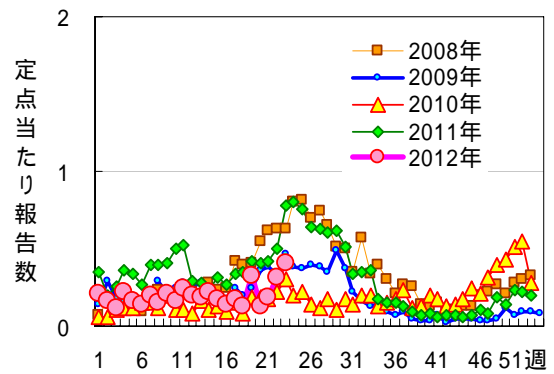


図1 咽頭結膜熱

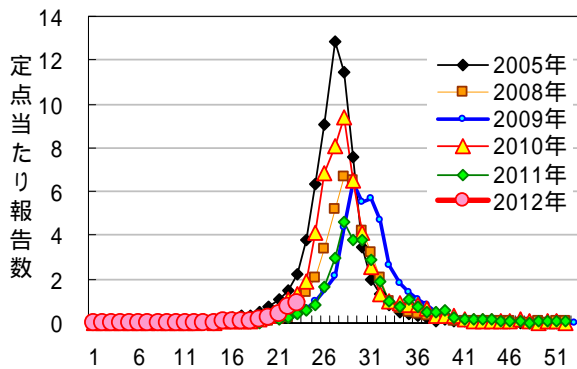


図2 ヘルパンギーナ

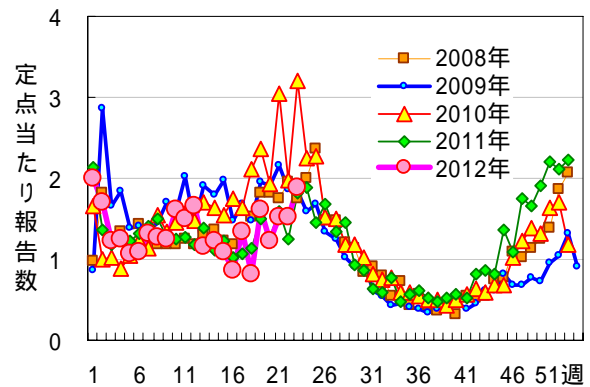


図3 水痘

後天性免疫不全症候群(図4, p5 2012年5月報参照)

愛知県の報告数が最高であった2010年は総計138件、病型別では無症候性キャリアが73件、AIDSが56件、その他が9件でした。なお、2011年は総計126件でした。

2012年5月までの報告数(1~22週診断分)は50件、病型別では無症候性キャリアが30件、AIDSが19件、その他が1件です。

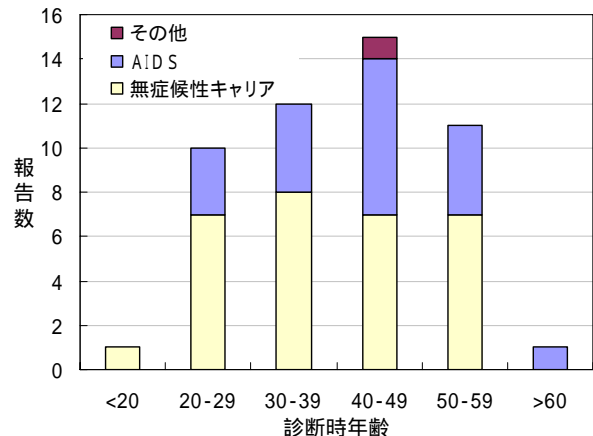


図4 後天性免疫不全症候群報告数 (2012年1~22週診断分)

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

アデノウイルス感染症 3名
 ロタウイルス感染症 3名
 マイコプラズマ感染症 7名
 【一宮市 ささい小児科】
 咽頭結膜熱 1例
 溶連菌感染症で発症はなし 1例
 【一宮市 後藤小児科医院】
 病原性大腸炎が種々あります。
 O1で上腹痛症状が強いようです。
 【犬山市 武内医院】

流行性耳下腺炎 大流行
 髄膜炎合併患者も5人になりました。
 水痘多発

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
 溶連菌感染症増加しています。
 感染性胃腸炎減少しています。
 【江南市 みやぐちこどもクリニック】
 14歳男 マイコプラズマ肺炎
 41歳女 病原大腸菌(O25)検出
 5歳女 溶連菌、アデノウイルス合併症
 溶連菌、アデノウイルス散発です。
 【清須市 丹羽医院】

尾張東部地区

溶連菌感染症流行続けております。
 その他、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、
 突発疹等
 今週も落ち着いた外来でした。
 【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
 マイコプラズマ(クラリスロマイシン耐性)
 が相変わらず多くいます。
 【豊明市 こども元気クリニック】
 咽頭結膜熱が目立ちます。
 【小牧市 志水こどもクリニック】
 ヘルパンギーナ、溶連菌感染症増加
 【春日井市 朝宮こどもクリニック】

アデノウイルス感染症が多いようです。
 インフルエンザがまだあります。

【春日井市 春日井市民病院】
 9歳女 病原大腸菌O25(+)VT(-)
 7歳女 病原大腸菌O1(+)VT(-)
 6歳女 病原大腸菌O1(+)VT(-)
 10歳男 マイコプラズマ
 【大府市 まえはらこどもクリニック】
 感染性胃腸炎が多かったです。
 ロタウイルス胃腸炎 1名(1歳)
 病原大腸菌O1 2名(5歳、6歳)
 病原大腸菌O18 1名(4歳)
 カンピロバクター 1名(7歳)
 ヘルペス歯肉口内炎 1名(4歳)
 【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

StrepA(+) 6名
 マイコプラズマ肺炎 6歳男
 E.coli(O1)+ (O25) 12歳男
 【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
 マイコプラズマ 1名 20歳以上女
 【豊田市 わかその東洋クリニック】
 マイコプラズマ 5名
 【豊田市 すくすくこどもクリニック】
 病原性大腸菌O25(+)VT(-) 3歳男
 病原性大腸菌O18(+)VT(-) 5歳女
 病原性大腸菌O1 (+)VT(-) 6歳男
 カンピロバクター 8歳女
 【岡崎市 にいのみ小児科】
 マイコプラズマ肺炎 5歳女
 病原性大腸菌混合3(+) O18(+) 2歳男
 【岡崎市 花田こどもクリニック】
 病原性大腸菌O25 10歳男
 マイコプラズマ肺炎 9歳女 7歳男 10歳男
 【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

病原性大腸菌O6 8か月男
 マイコプラズマ感染症 6歳男
 水痘目立ちます。

【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
 水痘、感染性胃腸炎 目立ちます。
 【碧南市 永井小児クリニック】
 咽頭結膜熱 3名
 ロタ腸炎 多数
 【知立市 宮谷クリニック】
 マイコプラズマ気管支炎 3名(7歳、11歳、
 15歳)
 【刈谷市 田和小児科医院】
 マイコプラズマ肺炎 3歳男、12歳女
 水痘が目立ちました。
 【西尾市 山岸クリニック】
 アデノウイルス感染症 4歳女 2名
 【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

インフルエンザA型 1名

病原性大腸菌O15 女 (10か月)

【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】

【豊川市 ささき小児科】

1歳男、1歳女 アデノ扁桃炎

9歳女、12歳女 マイコプラズマ肺炎

【豊橋市 医療法人野村小児科】

全数把握感染症発生状況 (愛知県全体・保健所受理週別) 2012年6月13日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun110905.pdf>

結核 (二類感染症)

報告保健所	2012年23週報告数			2012年累計(1～23週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	20	7	5	341	78	103
豊田市	1		1	34	9	11
豊橋市	1			35	6	11
岡崎市	2		1	22	9	5
一宮	3		2	58	17	11
瀬戸	2		1	49	9	17
半田	1	1		27	10	11
春日井	1	1		35	13	5
豊川				34	8	15
津島				30	6	4
西尾				18	4	5
江南	1			32	8	8
新城				2	2	
知多				36	13	12
師勝				12	8	2
衣浦東部	4	3		37	14	7
合計	36	12	10	802	214	227

腸管出血性大腸菌感染症 (三類感染症)

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	60歳	女	- / -	6 / 2	6 / 2	O26、VT1(+)
2	半田	6歳	女	6 / 2	6 / 4	6 / 7	O111、VT1(+)

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	一宮	20歳	女	肺炎型	国内
2	江南	95歳	女	肺炎型	国内

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	44歳	女	腸管アメーバ症	経口感染	国内
2	名古屋市	63歳	男	腸管アメーバ症	不明	国内
3	豊川	44歳	男	腸管アメーバ症	経口感染	国内

ウイルス性肝炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	豊田市	54歳	男	B型	性的接触	国内

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	52歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
2	名古屋市	48歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
3	名古屋市	33歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
4	一宮	51歳	男	AIDS	性的接触	国内

5月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 [()は無症状病原体保有者再掲。]

2011～2012年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数		2012年5月			2012年 累計 <愛知県全体>	2011年 総計 <愛知県全体>
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体		
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (5)	結核	91 (18)	93 (39)	184 (57)	767 (218)	2,088 (557)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	細菌性赤痢	1 (0)	2 (1)	3 (1)	3 (1)	14 (0)
	腸管出血性大腸菌感染症	9 (2)	6 (2)	15 (4)	47 (27)	121 (33)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
四類 (42)	E型肝炎	0	0	0	0	2
	A型肝炎	1	0	1	5	4
	チクングニア熱	0	0	0	0	2
	つつが虫病	0	0	0	0	3
	デング熱	0	1	1	4	9
	日本紅斑熱	0	0	0	0	3
	ポツリヌス症	0	0	0	0	1
	マラリア	0	2	2	3	6
	レジオネラ症	4	1	5	9	41
五類 (16)	アメーバ赤痢	2	4	6	15	41
	ウイルス性肝炎	3	0	3	4	11
	内訳 B型	3	0	3	4	8
	内訳 その他	0	0	0	0	3
	急性脳炎	0	0	0	4	12
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	1	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	0	2	3	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	7	14
	後天性免疫不全症候群	4	7	11	50	126
	内訳 無症候性キャリア	1	5	6	30	73
	内訳 AIDS	3	1	4	19	50
	内訳 その他	0	1	1	1	3
	ジアルジア症	0	0	0	1	4
	梅毒	1	2	3	17	44
	内訳 無症候	1	2	3	10	19
	内訳 早期顕症	0	0	0	5	21
	内訳 晩期顕症	0	0	0	2	4
	破傷風	0	0	0	2	7
	風しん	2	0	2	5	13
	麻しん	1	0	1	31	32
	総 計	121	118	239	978	2,605

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2012年5月			2012年 累計	2011年 総計
		愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	96	70	166	631	1,560
	性器ヘルペスウイルス感染症	45	26	71	303	632
	尖圭コンジローマ	17	11	28	145	344
	淋菌感染症	16	29	45	228	714
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染	83	12	95	571	1,411
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	10	1	11	55	155
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	4	9
	薬剤耐性アシネトバクター感染症*	0	0	0	0	1

*2011年2月からの報告対象疾病

感染症の類型及び定義(感染症法)

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。鳥インフルエンザ(H5N1)が平成20年5月12日の法改正により従前の四類感染症鳥インフルエンザから除かれ、二類感染症に追加された。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (42疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (42疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

愛知県感染症情報

2012年23週(2012年6月4日～2012年6月10日)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	インフルエンザ定点	小児科定点											眼科定点		基幹定点				
	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び 新型インフルエンザ等感染症を除く。)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	インフルエンザによる入院患者
計	19	4	41	228	994	271	13	22	93	3	113	89	0	7	0	0	27	0	0
～6ヶ月		2			10	5			2	1	2								
～12ヶ月			3		50	14			49		8								
0歳																			
1歳		1	9	3	121	31	3		35		34	1							
2歳			5	13	100	41	2	1	7		21	4					2		
3歳			8	20	137	49		3			16	14					2		
4歳	1		8	48	111	51	1	10			10	9							
5歳	4		2	31	102	42	3	2			13	16							
6歳	2		3	32	58	10	2	2			3	21							
7歳	2	1	1	29	70	10	1	1		1	2	7							
8歳	1		1	14	28	9	1	2				8							
9歳	2			9	38	3					3	3							
5歳～9歳																	5		
10歳～14歳	4		1	21	63	4		1		1	1	5					9		
15歳～19歳				2	11								1				1		
20歳～				6	95	2						1							
20歳～29歳	1												2				3		
30歳～39歳	1												2				1		
40歳～49歳													1				1		
50歳～59歳																			
60歳～69歳																			
70歳～													1						
70歳～79歳	1																1		
80歳以上																	2		